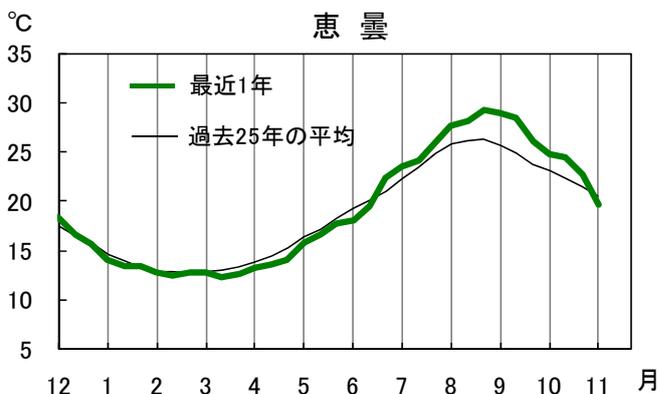
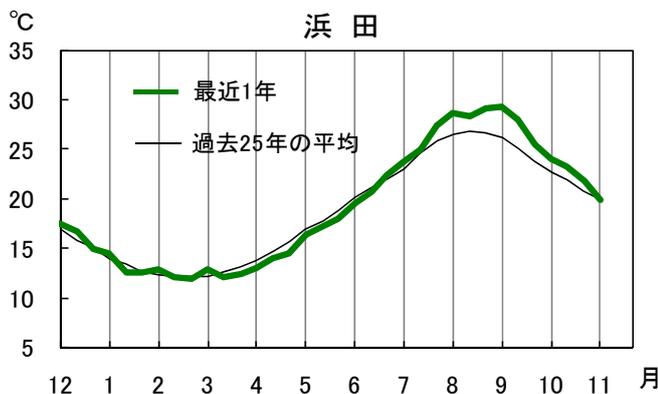




《10～11月の海況》

10月	月平均	平年差	評価
浜田	23.0℃	+1.2℃	かなり高め
恵曇	23.9℃	+1.7℃	はなはだ高め

沿岸定地水温は、10月は浜田地区では「かなり高め～やや高め」、恵曇地区では「はなはだ高め～かなり高め」と高め傾向が続きました。11月に入ると一転して降温が早まり、浜田地区では「平年並み」、恵曇地区では「かなり低め」で経過しています。



《10月の漁況》

【中型まき網漁業】

浜田地区ではマアジ主体の漁況で、総漁獲量は平年を上回りました。マアジの漁獲量は平年の5.2倍と好調でした。一方、西郷地区および浦郷地区ではマアジに加えウルメイワシ、サバ類主体の漁況でした。例年この時期が主漁期となるサバ類の漁獲量は平年を下回りましたが、マアジ、ウルメイワシの漁獲量は平年を上回ったため、総漁獲量は平年を上回りました。なお、隠岐地区で8月以降好漁が続いたブリの漁獲量は、8～10月の3ヶ月間で9千トンを超え、平年の4.6倍となりました。

【イカ釣漁業】

浜田地区（属地5トン以上）ではケンサキイカ主体（全体の93%）の漁況で、その漁獲量は平年の2.6倍と好調であったため、総漁獲量は平年の2.4倍でした。西郷地区（属人5トン以上）でもケンサキイカ主体（全体の94%）の漁況で、その漁獲量は平年の7割であったことに加え、スルメイカの水揚げが皆無であったため、総漁獲量は平年の2割と低調でした。

【沖合底びき網漁業】

浜田港ではケンサキイカ主体の漁況で、1統1航海当たり漁獲量は14.4トンで、前年・平年（過去10年平均）を14%上回りました。ケンサキイカは平年の3.5倍、キダイは平年の2.9倍の漁獲があり、好調に推移しました。一方、主要カレイ類（ムシガレイ、ソウハチ、ヤナギムシガレイ）は、平年の5～7割の水揚げに止まりました。

【小型底びき網漁業】

和江地区ではケンサキイカ、キダイ、久手地区ではニギス主体の漁況でした。1隻1航海当たりの漁獲量は、両地区とも平年、前年を上回り、好調に推移しました。両地区とも、ケンサキイカ、キダイが好調であり、平年の4～5倍の漁獲がありました。一方、主要種のソウハチは、和江地区では平年の9割の水揚げがありましたが、久手地区では平年の3割の水揚げに止まり、今後の動向が注目されます。

【定置網漁業】

石見地区の漁獲量は、1統当りではブリが前年の2.8倍、サバ類が2倍と好調であったため、全統の総漁獲量は前年の2.1倍でした。出雲地区の1統当りでは、漁獲量の主体を占めたブリが平年の1.5倍と好調でしたが、平年では漁獲量の2割を占めるマアジが低調で平年の3割に止まったため、全統の総漁獲量は平年並みとなりました。隠岐地区の1統当りでは、漁獲量の主体を占めたブリが平年の2.4倍と好調でしたが、平年では漁獲量の2割を占めるカワハギ類が低調で平年の4割に止まったため、全統の総漁獲量は平年並みとなりました。

【釣・縄】

石見地区ではケンサキイカ、メダイが主に漁獲され、1隻1航海あたりの総漁獲量は36kgで平年を上回りました。出雲地区ではケンサキイカが主に漁獲され、1隻1航海あたりの総漁獲量は30kgで平年を上回りました。隠岐地区ではケンサキイカ、クロマグロ、メダイが主に漁獲され、1隻1航海あたりの総漁獲量は28kgで平年並みでした。どの地区でもケンサキイカが漁獲の主体となり、その漁獲量は出雲地区では平年並み、石見地区及び隠岐地区では平年の1.6～1.8倍と好調でした。

【平成 22 年 10 月の漁獲統計】

漁業種類	水揚港	主要魚種	総漁獲量			CPUE(1 隻(統)1 航海あたり漁獲量)			漁模様
			漁獲量	前年比 %	平年比 %	漁獲量	前年比 %	平年比 %	
まき網 (中型・大 中型)	浜田	マアジ	884 トン	220%	159%	26.0 トン	207%	159%	◎
	西郷	マアジ、ウルメイワシ、サバ類	8,839 トン	101%	147%	95.0 トン	104%	157%	◎
	浦郷	マアジ、ウルメイワシ、サバ類	5,649 トン	101%	141%	76.3 トン	107%	150%	◎
イカ釣り (5トン以上)	浜田	ケンサキイカ	313 トン	123%	237%	398 kg	95%	158%	◎
	西郷	ケンサキイカ	6 トン	58%	24%	121 kg	131%	69%	○
沖合 底びき網	浜田	ケンサキイカ	402 トン	127%	110%	14.4 トン	114%	114%	◎
小型 底びき網	久手	ニギス	221 トン	100%	90%	787 kg	119%	114%	◎
	和江	ケンサキイカ・キダイ	376 トン	114%	121%	872 kg	119%	130%	◎
定置網 (大型)	浜田	ブリ	52 トン	369%	105%	2,261 kg	240%	96%	○
	美保関	ブリ・シイラ・サワラ類	135 トン	104%	101%	1,461 kg	105%	104%	○
	浦郷	ブリ	19 トン	97%	101%	690 kg	93%	102%	○
釣り・縄	仁摩	メダイ、ケンサキイカ	34 トン	109%	123%	64 kg	123%	168%	◎
	大社	ケンサキイカ、ブリ	9 トン	45%	42%	26 kg	77%	97%	○
	西郷	メダイ、ケンサキイカ、クロマグロ	19 トン	87%	72%	22 kg	63%	51%	▲

平年比：過去 5 年（沖底のみ 10 年）の平均値との比較 漁模様（CPUE）：◎が平年以上、○が平年並み、▲が平年以下